

Atsuko Kudo Mail Magazine 205

2014.06.20 ●カリフォルニア

お元気でいらっしゃいますか？

5月19日～6月10日のカリフォルニア・ツアーを終え、11日、無事にハンブルクの我が家に戻りました。その後、しばらく時差ボケに悩まされましたが、一週間以上経って、ようやく普通に生活できるようになりました。

今回は、サンフランシスコ、ロサンジェルス各地にて、コンサート、礼拝と家庭集会にて賛美と証し、賛美セミナー、聖歌隊指導など、毎回感謝に溢れる奉仕をさせていただきました。当地でお世話下さいました皆さま、背後で祈り支えてくださいました皆さまに、心からお礼を申し上げます。

以下、ツアーの報告をさせていただきます。

～サンフランシスコ～



1. 教会通り 19 街日系人バプテスト教会 (5.21)

19 街日系人バプテスト教会は、その名の通り、サンフランシスコの 19 街 (19th Avenue) の坂道にある教会ですが、行って驚いたのは、教会の両サイドも向いにも多くの教会が建っていることでした。バプテスト教会、日系人教会、華人教会、メソジスト教会・・・。(写真：左が日系人バプテスト教会、右が中華教会)

また、19 街日系人バプテスト教会内にも、英語、中国語、アラビア語、ベトナム語教会があり、お互いに協力しながら伝道しています。教会の栗山信夫牧師は、熱い伝道スピリットをもって、サクラメント、フェアフィールド、マリーナ、モンレーでも伝道されています。

5月21日は、教会の皆さんの熱心な宣伝と、また、コンサートの協力者の一人の方が、SF の日系新聞 J-Weekly に、2 面に亘って私のインタビューとコンサート広告を出してくださったことにより、小さな会堂に溢れんばかりの方々が来てくださいました。

コンサート後、ひとりのノンクリスチャンの方が話しかけて来られ、大きく心を開かれたようでしたので、その方のために、特別に祈らせていただきました。どうか主がその方を確かな救いへと導いてくださいますように！



2. アメリカ日系人教会日本語部の現状 イーストベイ・フリーメソジスト教会 (5.22)



イーストベイ FM 教会は、1917 年にアメリカ人宣教師によって建てられた教会です。日系人移民が多かった時代、移民への宣教が活発に行われ、多くの日系人クリスチャンが集うようになりました。しかし 2 世、3 世、4 世になるとあまり日本語が使われなくなり、英語で生活する世代へと変遷して行きました。そこで、英語部礼拝ができました。そのため、日本語部礼拝は、以前と比べると人数が大きく減少しています。また、英語部も、以前は日本語を解さない日系人が中心でしたが、現在は、日系人に限らず、さまざまな人種の方々が集うようになりました。これは、アメリカ日系人教会全体に言えることです。

しかし、数は少なくとも、日本語を話される人々のための日本語部礼拝は貴重です。イーストベイ FM 教会日本語部も、八木沢さんご夫妻（写真右から 3・4 人目）を中心に、日本語部礼拝や交わりが守られています。日本語を中心に生活する日系人がいる限り、どうか主がこれからも日本語部の礼拝を守って行ってくださいますように。

3. 右手を上げるイエス様

北加クリスチャン委員会(NCNCC)春季聖会コンサート (5.24)

サンフランシスコ周辺の日語教会の合同聖会でコンサートをさせていただきました。多くの主にある聖徒たちが祈りを積んで備えてくださったからでしょうか、格別に溢れる霊の満たしを感じたコンサートでした。賛美と証しをしている間中、背後で、イエス様が右の手を高く掲げて支えてくださっているのを感じました。私自身のことというより、コンサートにいられたどなたかの上に、コンサートを通して、キリストの勝利がもたらされたのかもしれない。



4. プレゼント ペンinsula・フリーメソジスト教会 礼拝賛美 (5.25)

2004 年の SF でのホームコンサートにいられた方が、「その後教会に行くようになり、洗礼を受けてクリスチャンになりました」と言って来られました。コンサートをしていて、時折このような嬉しいお知らせをいただくのは、伝道する者にとって、格別なプレゼントです。その方は、今回、ノンクリスチャンのお友達を誘って来られました。今度は、そのお友達がクリスチャンになっていますように！



ペンinsula FM 教会の榎原宣行牧師は、SF 全体のコンサート企画を担当してくださっただけでなく、SF のすべてのコンサートに同行してくださり、PA、パワーポイントの労を担ってくださいました。師の愛労に支えられ、毎回良いコンディションでコンサートをさせていただくことができたことを、心から感謝しています。

5. 縁の下での力持ち 奈々さん宅コンサート(5.27)

2004 年に引き続き、10 年ぶりに、渡辺奈々さんのお宅でコンサートをさせていただきました。奈々さんは、2004 年以来、これまでの SF でのコンサートのために、大きな「縁の下での力持ち」となって来てくださった方です。

コンサートには約 30 人の方々が来られました。そのうちの約半数はノンクリスチャン。奈々さんが祈って招かれた方々です。コンサート後の食事会では、その方々ととてもよいお話しをすることが出来ました。その皆さんが救いに導かれますようにと心から祈っています。



～ロサンゼルス～

1. トワイライト・コンサート 前原牧師宅コンサート (5.30)

LAでの第一回目の奉仕は、ゴスペル・ベンチャー・インターナショナル・チャーチの前原牧師宅でのコンサートでした。PAは、もとメッセンジャーズの織田さん（私の後ろの方）が助けてくれました。

Rancho Palos Verdes の丘に建てられた前原先生のお宅からは、LAの景色が一望できます。コンサートは夕暮れ色とともに始まりましたが、

終わった時には、すっかり暗くなり、町のイルミネーションが美しく輝いていました。

コンサート後のお茶会で、一組のノンクリスチャンのご夫妻としばらく信仰の話をさせていただきました。どうか主がおふたりを救いへと導いてくださいますように！



2. 感動的な礼拝式文 フェイス合同メソジスト教会、ウェスト LA 合同メソジスト教会 (6.1)

朝 8 時半と 11 時、Becky 平田先生が兼任しておられる、ふたつの合同メソジスト教会の礼拝で、賛美と証しをさせていただきました。先に書かせていただいたように、アメリカの日系人教会の日本語部に集う人々の数は減少していますが、少数ながら、どちらもとても温かい教会で、日本語で礼拝を守ることの出来る喜びを感じました。

今回、メソジスト教会の礼拝に初めて参加し、そこで用いられる式文の内容に深い感動を覚えました。昨年、教会史や「ヒボリユトスの使徒伝承」などを学んだ際、初代教会の礼拝に、本来の礼拝のあるべき姿を見出して来ましたが、メソジスト教会の礼拝式文には、その大切な部分が保持されていることを知りました。決して形式的になってはいけないものですが、私たちが霊とまことをもって献げる礼拝の中でこの式文を用いるなら、キリストのみ体である教会の、素晴らしい主への賛美、感謝、証し、祈りになると思いました。



3. 一人一人と 明子さん宅家庭集会 (6. 2)

毎週月曜、ノンクリスチャンを招いて家庭集会をされているキム明子さんのお宅で賛美と証しをさせていただきました。小さな集まりは、アットホームで、来てくださったすべての皆さんと接することの出来る素晴らしさがあります。

この日、賛美と証しの後、お食事をいただきながら、集われたお一人お一人と話しをすることが出来ました。

イエス様は大勢の前でもお話しさ

れましたが、家々に招かれてそこで福音を語り、また、一人一人と語られました。明

子さんの家庭集会を主が豊かに祝福してくださり、集われる方々に主の救いがもたらされますように！





4. 主に喜ばれる賛美を求めて

「賛美セミナー」 Crossway Church (6.5)

今回のカリフォルニア・ツアーで賛美セミナーをさせていただいたことは、大きな喜びでした。賛美セミナーには、主催して下さった LA 北部のパコイマ地区にある Crossway Church の他に、LA 各地から合わせて 23 人の方々が参加されました。



内容は昨年 11 月のセミナーと同じものですが、その後、私自身の中で深められて来たことを含めて、昨年より一歩進んだ形でお分かちすることが出来ました。

今回のセミナーに参加された皆さんが、これからこの学びを深めて行き、主に喜ばれる礼拝賛美を献げて行ってくださいますように、また、主がこの学びの分かち合いの場をさらに広げてくださいますようにと祈り願っています。

5. よき力に守られて GVIC 賛美コンサート (6. 8)

素晴らしいピアノ奉仕をしてくださった野田常喜さんが、仕事の都合で先に日本に帰られたので、LA 最後のゴスペル・ベンチャー・インターナショナル・チャーチのコンサートは、カラオケで歌うことになりました。しかし、LA 在住の友人、ピアニスト・ヴァイオリニスト&宣教師の Sally がコンサートに来てくれるということで、急遽、彼女に「よき力に守られて」を、ヴァイオリンと一緒に賛美してくれるようお願いしました。気心が知れた間柄であり、また同じ宣教への思いを持った彼女との賛美では、格別に大きな喜びが溢れ出しました。



Sally は、数年前、ドラッグ依存者救済の働きをしていた John との結婚に導かれました。ふたりは、この 8 月から、ロンドンの All Souls Church 内のホームレス救援団体 ASLAN の宣教師として働くことになっています。皆さまにも、彼らの働きのためにお祈りいただけますなら感謝です。
<http://lifeisfullofchoiceseurope.com/>

**輝かせよ主のともしび われらの闇の中に
望みを主の手に委ね 来たるべき朝を待とう**

2 年前から、私のコンサートのテーマは、ボンヘッフアーの「よき力に守られて」です。カリフォルニアでも、ずっとこのテーマでコンサートをさせていただきました。

暗闇の力が増す今、尊い小羊の血潮によって救われた者たちが、世から分離して神に従うことが問われている時だと思えます。私たちがすべてを捨てて神に従うなら、父なる全能の神はどのような時にも私たちの味方となり、完全な守りを与えてくださいます。その時に、私たちは、ほんとうの意味で、この暗闇に、主のともしびを輝かせることが出来るのだと思えます。

それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らと分離せよ、と主は言われる。汚れたものに触れないようにせよ。そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、わたしはあなたがたの父となり、あなたがたはわたしの息子、娘となる、と全能の主が言われる。(II コリント 6:17,18)

どうか、キリストを信じることによってもたらされる救いと、主に従うことによって与えられる神の完全な守りとご愛が、カリフォルニアの皆さま、そしてこのメルマガを読んでくださる皆さまと共にありますように！



工藤篤子

●お祈りください

これから、ニュースレターの原稿書き、7月30日からブリュッセルで始まる「ヨーロッパ・キリスト者の集い」の準備に取りかかります。今年の集いでは、賛美奉仕の他に、賛美セミナーをさせていただきます。どうぞ、日々主の声に耳を澄ましなが、良き靈的準備が出来ますよう、お祈りください。

●CD「よき力に守られて」、賛美セミナーのDVD、CD 好評発売中！

賛美CD、賛美セミナーのCD,DVD、書籍は、すべてホームページのオンラインストアから購入できますが、前回もお伝えしましたように、複数の商品を購入されるときに不具合を生じる場合があります。その場合は、どうぞメール、ファックス、電話でお申込みください。